



海洋システム科  
緊急企画



カゴ網漁業乗船実習



小学生体験入学



東海大学連携実習

昨年度の取組  
高校2年生



操船実習



食品製造実習

海洋システム科では、2年生から水産業に関わる授業や実習が増える。昨年度は、専門家に教わったり、習ったことを小学生に教えながら知識や技術をさらに深めた！

はじめての  
漁業体験  
(1年生 カゴ網漁業乗船実習)



1年生が大型実習船に乗船し、カゴ網漁業を体験したぞ！水産業に関わる知識技術と「楽しさ」を学んだ！

協力と厚意に感謝  
(3年生 課題研究)



広田湾漁業者の小松さんが、課題研究のためにエノメイカゲガイの養殖体験をさせてくださった！ありがとうございました！学んだ知識技術を地元水産業の課題解決につなげていきたい！

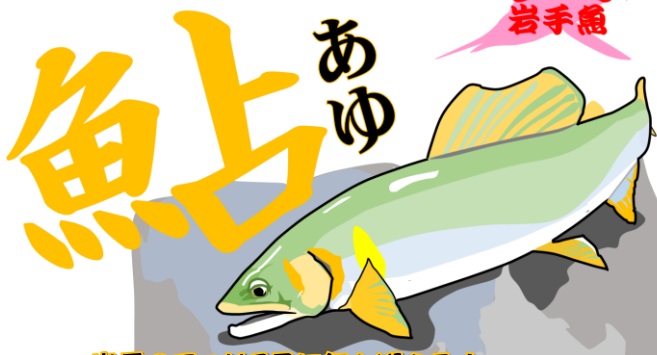
先生の独り言 vol.4

深海ラブストーリー

おっす！おらアンコウ！深海までよく来たな！おらは、大きな口と頭から伸びた触手が自慢の深海魚！触手には光るバクテリアが住んでいて、暗い深海でもピカピカ光る！光におびき寄せられた小動物をおらは食べてるんだぞ！今日は、おらたちの切なくて泣けるラブストーリーを紹介するぜ！



おらたちオスのアンコウは、大人になると長く険しい“嫁探しの旅”に出発する。オスはメスより体が小さい(メス80cm、オス10cm)から、敵に襲われたらひとたまりもない。しかも、深海は暗くて広大だ。おらたちの“嫁探しの旅”がいかに厳しいかわかってもらえたかな？だから、メスを見つけたら噛みついて決して離さない。だけど、“嫁を見つけること”が旅のゴールじゃないんだな。おらたちのゴールは、



今旬  
岩手魚

岩手のアユは7月に旬を迎える！  
気仙川では、1日からアユ遊漁解禁となったぞ！

“子のために死ぬ”ことなのだ。メスが噛みついた後、おらたちの眼は小さくなり、繁殖に関わる精巣だけを残して、ほとんどの内臓が消えてしまう。この時、外から見たおらたちの体はメスの“おでき”のように見えるらしい。体内に残った精巣も卵を産めるようになったメスの体へ精子を送り込むと役目を終える。その後、おらたちの体はメスの体へ完全に吸収されてしまう。つまり、おらたちオスのアンコウは、新しい命の誕生と引き替えに自分の命を終えるのだ。

命がけでメスを探す一途な想い、子どものために命を捧げる深い愛情。切なくて泣けるラブストーリーだったべ？ちなみに、市場やスーパーに並ぶアンコウはほとんど全てメスなんだぞ。だから、今日会えたのが最後かもしれないね。おらのこと忘れないでくれよな。じゃあの。

メスの体に吸収されたアンコウのオス

